



吉美小だより

綾部市立吉美小学校
令和6年6月20日号

「人を大切にする」子ども・教職員のいる学校

<学校教育目標>

自立と貢献 ～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～

<教育スローガン>

「笑顔・元気・夢いっぱい そして 思い合い」

一学期も後半に入りました

6月も下旬となり、気がつけば一学期に登校する日も後20日となりました。6月6日には4～6年生がプール掃除を行い、全校が気持ちよく水泳学習ができるよう、黙々とプールを美しくしてくれました（下の写真）。大変蒸し暑かったり、少し肌寒かったりする時期です。子どもたちには、健康管理を十分に、残りの1学期を元気に過ごしてほしいと思います。

さて、6年生は5月23、24日の両日、修学旅行（法隆寺・奈良公園・キッザニア甲子園等）に行ってきました。社会科の歴史学習に関わる建造物の見学、キャリア教育の一つとして職業体験等をしてきました。2日間ともに天気にも恵まれ、小学校生活の「思い出」の一コマになったことと思います。



校長 塩尻 竹弘



みんなのおかげです。ありがとう。

本当に子どもたちはよく頑張りました。「自分がしていることが多くの人の役に立っている」という感覚にもなったことと思います。正に**自己有用感**を感じることのできる時間でもあったことでしょう。声を大にして、「ありがとう！」「助かりました！」「みんなのおかげです！」

自己有用感って何？

「有用」とあるように、自分が人の役に立っているという気持ちです。そのことによって、自ら存在価値を感じることです。「私は学級（学校）の中で役に立っている」など、他者との関係の中で感じられるものが自己有用感です。これは、**心理的な安定感や満足感をもたらす**ことにもつながります。

吉美小学校には「子ども会」という歌がありました

先日、吉美小学校の卒業生の方からこんな依頼を受けました。「校歌ができる以前に『児童会（子ども会）』の歌というのがあったんだけど、その歌詞が学校にありますか？」というものでした。以前の校長先生に尋ねても分からず、吉美小学校卒業生である応援団の四方正和さんに聞いてみると、「探してみるわ。」と言って、その日のうちに「あったわ。卒業文集に載ってたわ。」と文集のコピーを届けてくれました。150周年の記念誌（19ページ）にもこんなことが書いてあります。**「学校の校歌とは別に児童会の歌があり、朝礼の時に校歌と同様に歌っていた。いまだに歌える。」**歌詞を掲載します。卒業生の皆さんにとっては懐かしいものかもしれません。

一 にここに顔にすまし顔
 とってもあかるいお友達
 広い野山をかけまわる
 元気な子どもの集まりだ

二 すらっとせのびするボフラ
 どうしり太るいちようの木
 小鳥も歌い 花もさく
 だれもがのびる学校だ

三 みんなの幸せ考えて
 手をつなぎあう子ども会
 希望の歌は城山を
 超えてひびくよ 青空に

子ども会

